

プレイヤー名 _____



記憶のカケラ	内容
ゲーム	寝ても覚めてもゲームをしていた。なんのゲームだったのか、なんのためのゲームだったのかわからないけれど、画面を眺め續けていた記憶、部屋から出るのも、眠ることさえ億しんでいた記憶はある。
うとうと	甘い懶睡、目を覚まさなければならぬけれど、布団から出られない。窓から漏れる朝日。小鳥の声。眠っては目覚めることにあったあの感覚。でも、この世界にそれはなく……
土の匂い	花の世話が好きだった。植え替え、肥料、水やり。土いじりが好きだったあなた。命のこもった土の匂い、草花の香り。全て覚えている。もうそれはない。砂と石しかこの世界には……。
手をつなぐ	誰かと手をつないでいた。相手はわからないけど、確かに手の中にある安心感。手に触れることで安心を得られるなら、せめて今いる仲間ともに手を繋いでいた。冷たい手でもぬくもりは感じられるから。

能力値	クラス	修正	合計
武装	3	0	3
変異	0	0	0
改造	1	2	3

未練				
対象	種類		狂気点	発狂時ペナルティ
たからもの	依存	3	①②③④⑤	パーツとして所持。破壊で狂気点+1
アパシー	憧憬	3	①②③④⑤	
ミラ	執着	3	①②③④⑤	
		3	①②③④⑤	
		3	①②③④⑤	
		3	①②③④⑤	

[illegible]